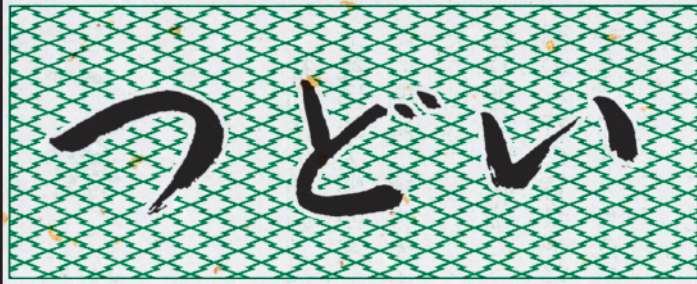


第39号

〒542-0072 大阪市中央区高津 2-8-10 末広ビル 502号室
Tel(06)6214-0753 Fax(06)6214-0755



ご挨拶

一般社団法人関西常磐津協会
理事長 常磐津 一巴太夫

酷暑の候、皆々様益々御清祥の段、お慶び申し上げます。
さて、当法人は、安倍晋三内閣総理大臣より、一般社団法人の認定を受け、本年四月一日に移行登記を完了いたしました。この後は古典芸能の伝承と、常磐津の振興と普及につとめる覚悟でございます。

当協会は、さる三月二十四日(日)、国立文楽劇場小ホールに於きまして、第十七回の「ときわぎ」の公演を行いました。教室会員の皆様、美佐季様と私の社中合わせて九番より、盛況裡に終了いたしました。

又、四月四日(木)は、一般社団法人になり初の催しとして、江口の君堂に於いて、常磐津塚の法要を行いました。ご出席の皆様は、先祖の霊を偲んでお供養をなされました。

そして、八月四日(日)、国立文楽劇場に於いて、第七十四回の常磐津節公演を開催いたします。当協会として、初めてお揃いの浴衣を新調し、浴衣を着ての公演会をいたします。女流の方は「鶴亀」と「権八」の二段で、男性は夏狂言の「油屋」を五段に分け、役柄を替えての演奏をいたします。夏のひとときを楽しんで頂けることと存じます。

いろいろと変わった企画を考えております。今後共、常磐津節が益々発展いたしますことをお祈り致しましてご挨拶いたします。
(重要無形文化財
常磐津節浄瑠璃保持者)



第七十四回 常磐津節公演会

日時 平成25年8月4日(日)

午後1時30分開場 午後2時開演

場所 国立文楽劇場小ホール

入場料 4000円 司会 桂九雀

細石巖鶴亀

浄 三都由紀 三都姫 三都貴

廓の仇夢

浄 美佐季 小都路 一巴菜 亜香音

神路山色 捧

北六 三代太夫 小東矢
仲岩居治 巴松太夫 小三郎
破扇野 巴瑠幸太夫 綱男
殿中 都代太夫 都史
次郎助 三賀太夫 三之祐
丈八 若音太夫

神路山色 酒宴

中 都代太夫 小欣矢
萬野 巴瑠幸太夫 小東矢
岩治 巴松太夫

神路山色 酒宴

下 一巴太夫 都岳蔵
萬野 小由太夫 都史
岩治 三代太夫
北六 若音太夫

神路山色 緑切り

上 三賀太夫 三都貴
萬野 巴瑠幸太夫 小三郎
お細 都代太夫 綱男
お細 小由太夫 三之祐
岩治 巴松太夫
次郎助 三代太夫
北六 若音太夫

神路山色 捧

上 三代太夫 小東矢
お鹿 都代太夫 小欣矢
岩治 小由太夫 都岳蔵
お細 一巴太夫 都史
真 巴松太夫 三之祐
喜助 巴瑠幸太夫
丈八 若音太夫

(舞台面)

(舞台面)

(舞台面)

理事あいさつ

企画部

常磐津都岳蔵

今年から企画を担当させていただきます。企画部の第一の役割は毎年開催される公演会全般にわたる仕事です。江戸時代以来の常磐津節を後世に伝えるという一番大切な意味をもち協会法人化以前から唯一行ってきた由緒ある会です。年功序列の世界である上、芸の熟練を考慮し、曲の選択、演奏者の「ニン」にある役を考えながら、尚且つ若手を育てていくという最もむづかしく重要なお役目です。近年諸先輩が亡くなり私がお仕事をさせていただくことに身の引き締まる思いでおります。企画部の今年の変わったところは協会が常磐津浴衣を新たに誂えることが総会にて決まりました。今年から一般社団法人への移行にともない常磐津の紋、松皮菱をあしらった浴衣で全員心を一つに一致結束して行くという意味をこめて揃えます。そして今年の公演会が夏に行くことから「神路山色

瑋」(油屋)通しを浴衣で演奏します。企画部への協会員全員のご理解ご協力と皆様のご後援をよろしくお願いいたします。

文教部

常磐津小由太夫

この度文教部を担当する事になりました。常磐津小由太夫です。巴留幸太夫さん、小東矢さんと一緒に頑張っていきたいと思えます。

教室の生徒さんの指導は勿論のことですが、協会の発展ならびに常磐津の質の向上に努めて参りたいと考えております。どうぞよろしくお願いいたします。

厚生部

常磐津小三郎

この度、理事会からの推薦で理事になり協会運営に参加させて頂くことになりました。担当は会計と厚生部です。今年度より一般社団法人となり定款と会則を新しく作成し、それに基づき協会の資産管理及び各部の出納業務を行います。

す。厚生部は毎年4月4日に寂光寺で行われる、先人供養の為の常磐津塚法要です。現在一二三名の石碑が刻まれておりますが、過去帳に若干記入漏れが見つかり整備する予定です。当協会やその家族及び常磐津節愛好者の親睦を深めるような企画がございましたら担当理事迄、ご連絡下さるようお願い致します。

広報部

常磐津綱男

この度広報部担当に就任いたしました常磐津綱男です。広報部は芸団協、芸団協関西含む他団体との折衝、交渉と機関誌「つどい」の発行を役割といたします。「つどい」の発行に当たりますのは二度目ですが、巴留幸太夫さん、麒六さん、若音太夫さん、三之祐さん達のお力を得て、「つどい」を、より協会会員の情報交換の役割を発揮した紙面にしていきたいと思えます。また以前に掲載しておりました「常磐津名曲の地を訪ねる」と言う特集を復活させ曲の舞台となった地を紹介いたします。さら

に広報部と共にその舞台となった地へ行くと言う事を一般公募いたします。今回は夏の公演会で演奏されます「神路山色瑋油屋」に因んで伊勢の古市へ行きます。詳しくは「協会だより」の欄をご覧下さいます。皆様のご参加をお待ちしております。

広報部 文教部

常磐津巴留幸太夫

今年も文教部(教室)を小由太夫師と一緒に担当させて頂く事になりました。昼を小由太夫師。夜を私と小東矢さんで指導致します。教室会員の皆さんも皆、熱心に稽古を受けており、「ときわぎ」の発表会に向け頑張っております。又、広報部も綱男師を部長とし、麒六さん、若音太夫さん、三之祐さんと共に機関紙「つどい」発行に向けお手伝いさせて頂きます。どうぞ宜しくお願い致します。



協会だより

行事報告

第39回通常総会(平成25年度予算総会)
平成25年2月20日(水)
大阪市中央会館 午後1時半より

平成25年度の予算並びに事業計画の可決。法人移行に伴う新組織の編成・役員選出等が行われました。

(役員)

理事長 一巴太夫
常務理事 都岳蔵・小由太夫
理事 綱男

小欣矢
巴瑠幸太夫
小三郎
美佐季
監事

部署	部長・局長	部員・局員
企画部	都岳蔵	美佐季 半中 都代太夫 都史
文教部	小由太夫	巴瑠幸太夫 小東矢
広報部	綱男	巴瑠幸太夫 麒六 若音太夫 三之祐
厚生部 会計	小三郎	三都貴
事務局	小欣矢	麒六 小東矢 三都貴

第17回ときわぎ
平成25年2月24日(日)
国立文楽劇場小ホール
午前11時半開演



昨年は初の試みとして、愛媛県・内子座で開催されたときわぎですが、本年は場所を大阪に戻しての開催となりました。各社中・教室会員の皆様がお稽古の成果を発揮され、大変盛会となりました。終演後はホテル日航大阪にて親睦会が行われ、出演者の感想、談笑、ゲームなどで大いに盛り上がった親睦会となりました。

常磐津塚法要

平成25年4月4日(木)
江口の君堂寂光寺

本年は昨年より多くの方にご参拝いただきました。来年は平成26年4月4日(金)正午より執り行われる予定です。皆様のご参拝をお願い申し上げます。



第1回定時社員総会

平成25年6月8日(土)
大阪中央会館 午後1時半より

表彰

この度、常磐津小欣矢事務局長が公益財団法人第24回「清栄会奨励賞」を受賞されました。誠にありがとうございます。



第六回常磐津綱男勉強会

平成25年3月31日(日)
国立文楽劇場小ホール

人間国宝・一巴太夫常磐津講座

in大江能楽堂

平成25年4月21日(日)

京都・大江能楽堂

明治41年に創建された由緒ある能楽堂にて、NHKカルチャー主催による常磐津一巴太夫理事長の講座が催されました。当日約130名の受講生が集まり「廓八景」「将門」を演奏され終始和やかな雰囲気の中に包まれ皆さん熱心に受講されました。(進行濱崎加奈子)



会員移動

退会者
平成24年度(平成25年1月〜3月)
準会員 常磐津小為(常磐津小欣矢門弟)
賛助会員 小川益慧(常磐津小欣矢門弟)
北谷久美恵(常磐津小欣矢門弟)
教室会員 片岡晴美

行事予定

第七十四回常磐津節公演会
平成25年8月4日(日)

国立文楽劇場小ホール
午後1時半開場 午後2時開演
入場料 4000円

20年に一度の伊勢遷宮に合わせ、今回は神路山色瑠を演奏します。会に先立ち、物語の舞台である伊勢古市を訪ねる日帰り旅行も計画していますのでふつてご参加ください。

芸団協 関西協議会 芸能サロン
新しい時代の息吹を求め
かみがたの歳時記

平成25年7月20日(土)

吹田市メイシアター中ホール
午後1時半開場 午後2時開演
入場料 前売3000円
当日3500円

当協会よりの出演、演目は左記の通りです。

「角兵衛」

浄 美佐季 三 半中

小有喜 三都貴

亜香音 上 麒六

今回は長唄との掛けいで演奏します

死去

平成24年度(平成25年1月〜3月)

準会員 常磐津巴奈津太夫

こと 十二代目 市川團十郎
(常磐津一巴太夫門弟)

常磐津巴留香

こと 松永チヅ子

(常磐津一巴太夫門弟)

つつしんでお悔やみ申し上げます

お知らせ (個人) Information

常磐津綱男ゆかた会
 平成25年9月1日(日)
 短歌会館(名古屋市中区伏見)
 午後1時開演

常磐津小欣矢の会
 平成25年11月16日(土)
 大阪本町ティンジンホール

名曲で知る邦楽の世界
 平成25年7月20日(土)
 東京国立小劇場
 午後2時開演
 入場料一般2000円 学生1400円

乗合船恵方万歳
 浄瑠璃 巴瑠幸太夫 三味線 小欣矢
 三代太夫 菊与志郎
 千寿太夫 上調子 美寿郎
 他 地歌、箏曲、尺八、長唄

協会員だより

常磐津 都会のこと

常磐津都岳蔵

今年は私の主催する常磐津都会が85年を迎えます。大正12年9月1日東京大震災によって当時住んでいた銀座の宗十郎町を焼け出された家族が京都に避難、その年の秋から始めた研究会を昭和3年に常磐津都会と改称、第一回創立以来、平均年3回開催し実質は90年目にあたります。驚くのは昭和20年1月13日の番組が残されていることです。昭和20年8月15日の終戦まで日本の主な都市は残らず焼野原となった時にも京都はほとんど無傷で残っていたのですね。しかし食料は乏しく恐らく腹ペコで演奏していたことと思いますが、家、見台、三味線、貴重な譜は全て残されておりました。祖母 常磐津都、父 常磐津文之助、私、息子の都史と4代にわたる会で内容も廃曲寸前の作品を愛好者の皆さんに移し育てながら、研究し命懸けで続けて今日に至っております。今年の楽しみは長崎都会連中による「花競俄曲突」(粟餅)のほぼ全曲演奏です。6月22日に京都でもっとも縁の深い祇園一力にて打ち上げました。

浴衣を作りませんか!

夏のお出かけに常磐津の浴衣はいかがですか。
 8月4日公演会の出演者も着用します。
 13,000円(サイズS・M・L)で、仕立ても依頼される場合は6500円増しです。

お申込みは企画部

(常磐津都岳蔵 090-7095-0438)まで。



**常磐津小文太夫改め
 十二代目 常磐津小文字太夫**
 襲名披露演奏会
 平成25年10月21日(月)
 東京国立小劇場
 午前11時開演 午後8時30分終了予定
 特別出演 尾上菊之助
 出演 常磐津英寿
 常磐津一巴太夫
 常磐津小文字太夫
 十七世家元
 常磐津文字太夫
 他 男女名取門弟
 「常磐の老松」
 「松島」
 「老松」他



広報部と一緒に古市へ行こう!

協会機関紙「つどい」の記事で次号より「名曲の舞台を訪ねる」を復活致します。今回は8月4日の公演会で演奏される「神路山色 瑠 油屋」に因み伊勢の古市を取材致します。つきましては皆様も演奏を聴く前に一緒に行きませんか? 日時は下記の通り

日時 平成25年7月28日(日) 集合時刻:午後1時
 出発集合場所:近鉄五十鈴川改札を出た所

注意 旅費、食事は自己負担をお願い致します。昼食は済ませておいて下さい。
 電車の時刻参考(詳しくは駅でお問い合わせ下さい)

大阪方面からの電車



1. 近鉄大阪難波 11:05 発
 鶴橋 11:11 発(阪伊乙特急乗換)
 五十鈴川 13:00 着
2. 近鉄大阪難波 10:45 発(東花園行き)
 鶴橋 10:53 発(阪伊乙特急乗換)
 宇治山田 12:38 発(名伊乙特急乗換)
 五十鈴川着 12:40

京都方面からの電車



1. 近鉄京都 10:13 発(櫃原神宮前行き)
 大和八木で 11:42 発(阪伊乙特急乗換)
 五十鈴川着 13:00
2. 近鉄京都 10:13 発(櫃原神宮前行き)
 大和八木で 11:21 発(阪伊乙特急乗換)
 宇治山田で 12:38 発(名伊乙特急乗換)
 五十鈴川着 12:40

名古屋方面からの電車



1. 近鉄名古屋 11:10 発(名伊乙特急)
 五十鈴川着 12:40

お問合せ

常磐津麒六 080-3804-3372
 常磐津三之祐 090-7881-3717 まで

編集後記

今年4月歌舞伎座が新開場となり、歌舞伎界が尚一層華やかな雰囲気包まれました。当協会も役員改選に伴い新たに出版しました。「つどい」も今号より新たなメンバーで2年間発行させていただきます。充実した機関紙

にしたいと思っております。広報部一同頑張りますので、会員の皆様載せてほしい記事などございましたら、是非ともお知らせ下さい。次号宜しくお願致します。

巴瑠幸太夫